

# 京都府北部地域連携都市圏公共交通計画（素案）

持続可能で利便性の高い公共交通の維持・確保を図るためには、  
交通事業者の自助努力や行政の支援だけでなく、  
地域住民の皆さん自らが公共交通を「みんなで乗って、守り、育てる」  
という意識を持って関わる大切です。  
行政、交通事業者、地域住民の皆さんそれぞれが共通認識を持ち、  
私たちの大切な公共交通を守っていきましょう。

## 目 次

- ・ 計画の期間…P. 1
- ・ 京都府北部地域の公共交通に関する現状と課題…P. 2
- ・ 計画の基本方針及び実施事業…P. 4
- ・ 事業範囲…P. 5
- ・ 計画の目標指標及び達成状況の評価…P. 6
- ・ 計画の実施及び進行管理の体制…P. 6
- ・ 京都府北部 5 市 2 町の各種計画と公共交通との関連…P. 7

### 人口減少を克服し、未来への希望を紡ぐ連携都市圏 ＜目標人口：2040年 23.9万人以上＞

#### 取組の方向性

- 1 圏域全体における地域循環型の経済成長
- 2 高次の都市機能の確保
- 3 生活関連機能の向上

#### 【圏域づくりの基本方針】

取組の方向性の実行のため、次に掲げる基本方針に基づき、5市2町が「選択と集中」「分担と連携」をコンセプトに、観光や産業、教育、医療、交通、環境等の各分野における連携施策に取り組み、水平型の連携による「機能的合併」を推進。

- (1) 相互補完型連携（水平連携）の推進
- (2) 5市2町の個性・特徴の尊重
- (3) 徹底的な情報共有と総合調整機能の確保
- (4) 多様な主体との協働
- (5) 持続可能な圏域づくり
- (6) 新型コロナウイルス感染症に対応した圏域づくり



＝第2期京都府北部地域連携都市圏ビジョンで描く交通分野における将来像＝  
『多様な移動ニーズに対応する持続可能で便利な交通圏域』

## 京都府北部地域連携都市圏公共交通計画策定の背景・目的

圏域における公共交通は、利用者の減少による財政負担の増加など、確保維持が厳しい状況である一方、高齢化の進行や運転免許返納者の増加等により潜在的なニーズは増加しており、買い物や通院など、住民の暮らしに欠かすことのできない移動手段として重要な役割を担い、その必要性や重要性は一層高まっていくものと考えられる。

こうした中、京都府5市2町と交通事業者や関係団体等とともに、将来にわたり、本圏域が持続可能な交通圏域を確立できるよう、令和3年4月に「京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会」を設置し、中長期的なビジョンを持って、スケールメリットを活かした広域的な施策展開を行うため「京都府北部地域連携都市圏公共交通計画」を策定する。

## 計画のねらい

本圏域内の公共交通機関は、地域住民の日常生活を支える移動手段としてだけでなく、地域の活性化の大切な要素である「人の交流」のための重要な資源となっているが、人口の減少等により利用者の減少が続いており、今後も経営環境は厳しさを増すことが想定される。

そのため、鉄道や路線バス等の広域的かつ幹線的な公共交通及びそれに接続する支線的な公共交通(移動手段)について、将来にわたって持続可能なものにするを目的として、本計画を策定する。

## 計画の期間

○令和4年度～令和8年度までの5年間

## 京都府北部地域の公共交通に関する現状と課題

### ■圏域の公共交通を取り巻く現状

#### 【地域特性】

- 中丹地域(綾部市、福知山市、舞鶴市)は、JR 西日本の鉄道路線と京都交通、西日本 JR バスの路線バスが、丹後地域(宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)は、京都丹後鉄道の鉄道路線と丹後海陸交通の路線バスが基幹交通。
- 圏域内での移動様態では、中丹地域は地域内での移動が多いことに対して、丹後地域は、地域内に加え中丹地域への移動も多い。通学では、中丹地域内、丹後地域内での移動が主。
- 海の京都 DMO を中心として、国内観光客だけでなく外国人観光客の誘致にも力を入れており、積極的な施策の展開により観光客が伸びている。

#### 【社会動態】

- 観光入込客数は増加傾向  
※2010 年：8,635 千人⇒2019 年：10,262 千人（19%増）
- 人口減少・高齢化の深刻化  
※圏域人口 2010 年：309 千人⇒2020 年：278 千人（11%減）  
※高齢化 2015 年：32.8%⇒2020 年：34.7%
- 運転免許返納者数は増加の一途  
※2011 年：37 人⇒2019 年：1,475 人
- 日常生活（通勤・通学、買い物、通院）における自動車への依存  
※家族送迎を含め、8 割～9 割の者が自動車を利用
- 公共交通を維持する経費の増加（公費負担）  
※2011 年：990,434 千円⇒2019 年：1,329,050 千円（34%増）

### ■京都府北部地域内の移動状況

- 中丹地域（福知山市、舞鶴市、綾部市）は地域内の移動が主となっているが、丹後地域（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）では丹後地域内だけでなく、中丹地域への移動も多い。
- 移動の目的は、買い物という回答が最も多く、利用する交通手段もほぼ自動車となっている。

### ■圏域の移動ニーズの実態

#### 【市民アンケート調査】

- アンケートの結果、利便性や待合環境向上の声が多いものの、大半が自動車利用でバスへの代替ができないという回答

#### 【高校生アンケート調査】

- 公共交通に対して、便利で使いやすいといった好意的なイメージ
- 一方で運行本数が少ない、運賃が高いという不満
- 通学時間帯は密状態を踏まえたバスや鉄道の増便や増結といった要望
- 運行本数の増加、登下校に合わせた運行時間、フリーWi-Fi への要望

#### 【鉄道・バス利用者調査】

- 趣味での利用が最も多く、買い物・通院といった利用が続く
- 本数が少ないという不満が多いが、半数以上の者が公共交通に満足

運転手不足等や  
コロナ禍による  
交通事業者の厳  
しい経営環境

厳しい財政状況  
の中での公共交  
通を支えるため  
の財政負担の増

圏域の実態がこのまま続けば…

過度な  
自動車への  
依存

公共交通の利用者減、財政負担増

公共交通の維持困難

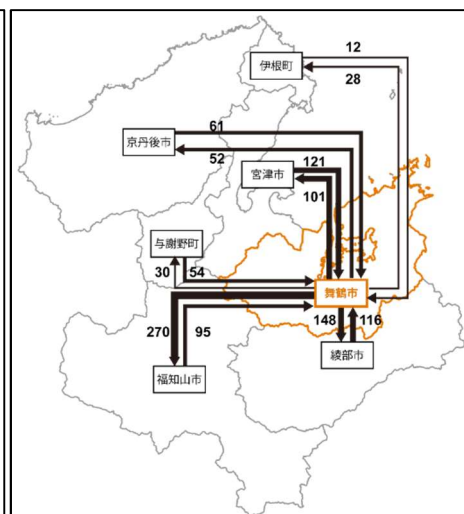
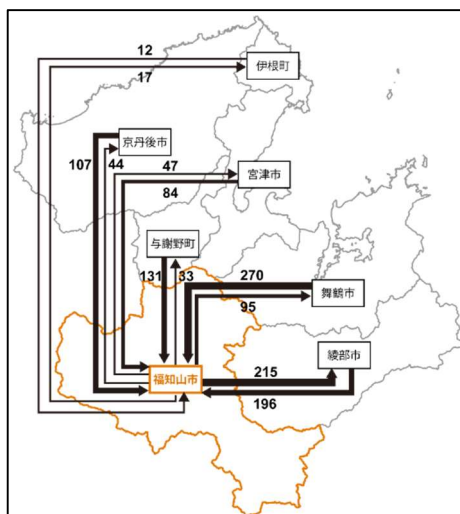
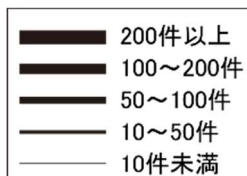
自動車が使えなくなった時には公共交通での移動が難しい状況に

上記の状況にならないためにも、  
自動車に過度に頼ることなく、公共交通利用者の満足度を高めるとともに、  
利用機会などをつくりながら、公共交通へのマインドセットの転換が必要

(参考)京都府北部地域内の移動状況図

福知山市

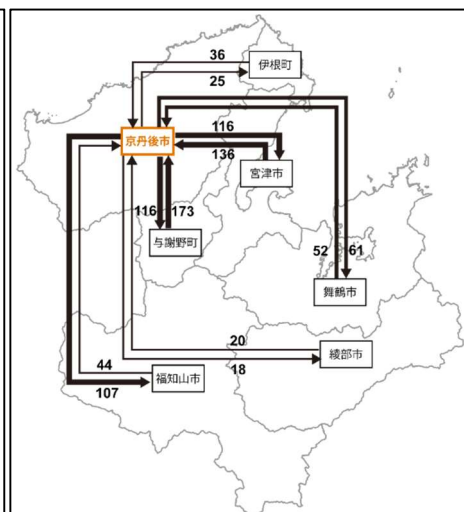
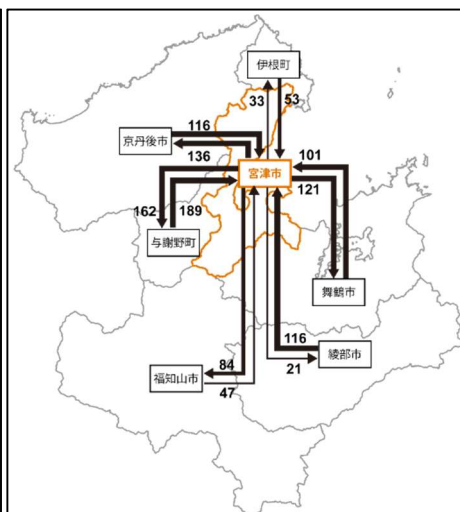
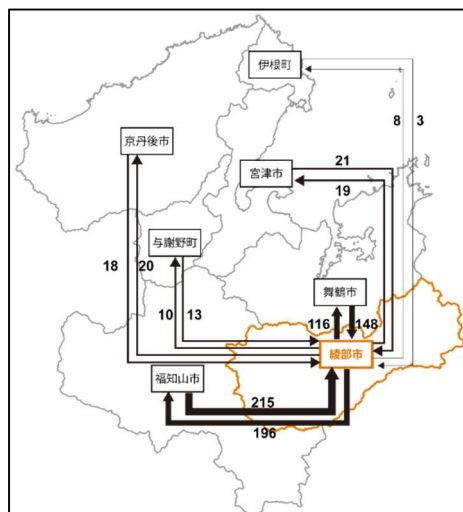
舞鶴市



綾部市

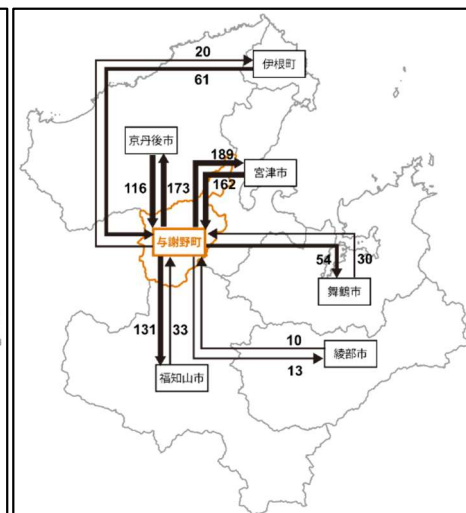
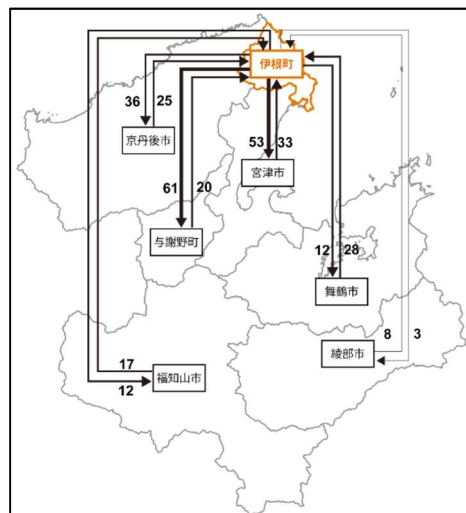
宮津市

京丹後市



伊根町

与謝野町



### 基本方針

## 多様な移動ニーズに対応する持続可能で便利な交通圏域

### 目標1

#### 利用者の満足度がより高まる公共交通の実現

利用者の満足度を高めることで移動手段として選ばれ、新たな利用者がさらに生まれるような好循環を公共交通で実現するための取組を展開。

【方策1】 交通結節点での乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの調整

【方策2】 路線バス等の運行ルートの見直し

【方策3】 待合施設の環境整備〈Wi-Fi や多言語案内表示の整備など〉

【方策4】 圏域の公共交通利活用ガイドの作成

【方策5】 MaaS など利用者目線での利用促進の取組や新たな利用者の掘り起こし

### 目標2

#### だれもが公共交通の使い方を理解し、移動に困らない圏域の実現

公共交通「も」利用した移動手段を知ること、自動車以外の移動方法がわからない、移動手段の選択弱者として誰も取り残されない圏域を実現するための取組を展開。

【方策6】 高齢者や低年齢層を対象としたバスのお試し乗車会の実施

【方策7】 運転免許証返納前の段階における高齢者の利用促進

### 目標3

#### 自動車に過度に頼らないまちづくりや広域観光と連携する公共交通の実現

本圏域で自動車に頼り過ぎなくても移動が可能となるように、まちづくりや観光などと連携した利用しやすい移動手段となる公共交通を実現するための取組を展開。

【方策8】 公共交通による周遊観光ルートの検討

【方策9】 医療や公共施設等広域拠点への効率的な運行ルートの検討

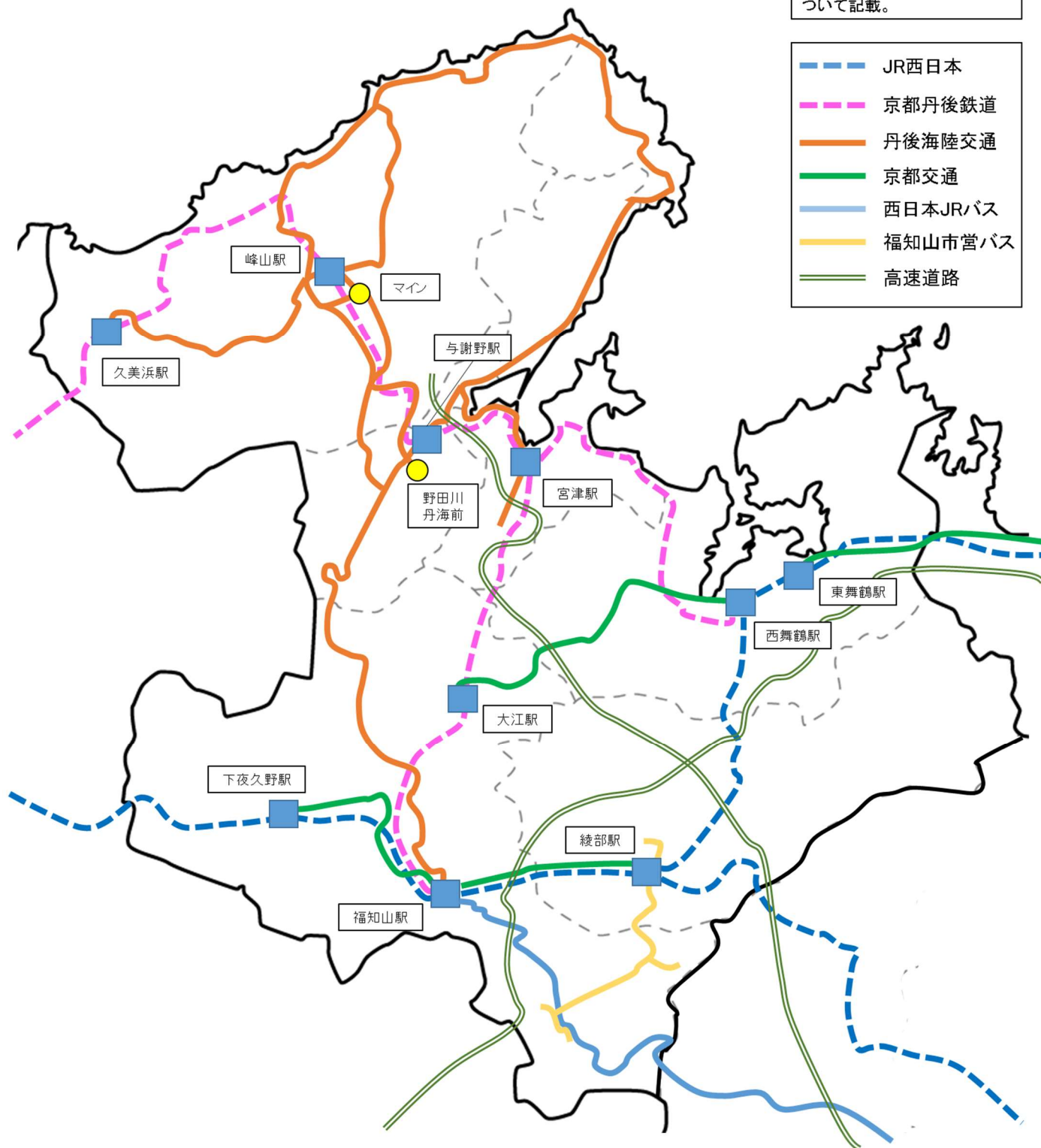
【方策10】 大規模災害時のリダンダンシー機能の確保



## 事業範囲

京都府北部7市町において、  
幹線補助系統または、市町を  
またいで運行している路線に  
ついて記載。

- JR西日本
- 京都丹後鉄道
- 丹後海陸交通
- 京都交通
- 西日本JRバス
- 福知山市営バス
- 高速道路



## 計画の目標指標及び達成状況の評価

### ■評価方法



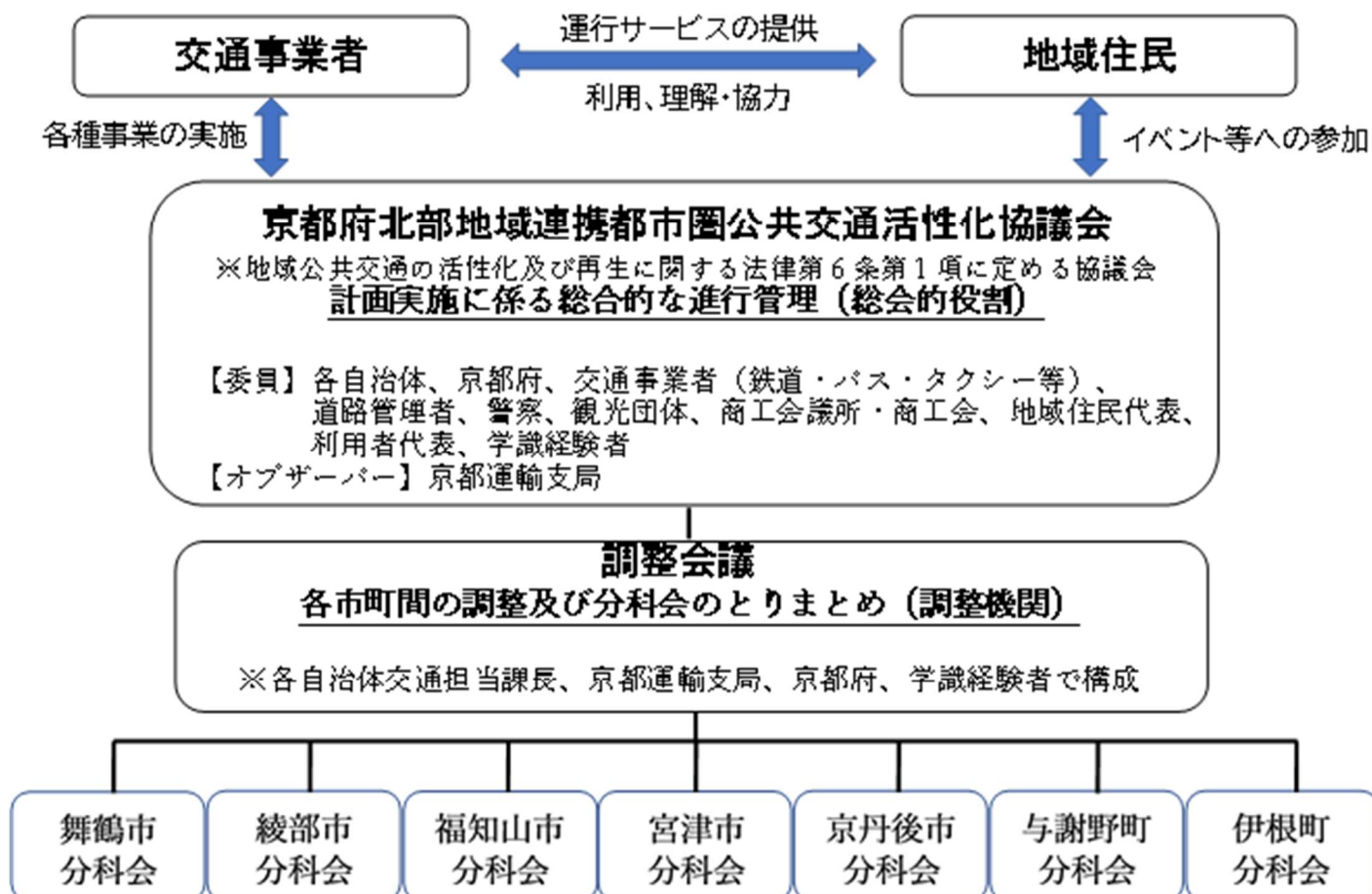
### ■評価項目

| 項目                              | 現在数値 | 5 年後の目標値 |
|---------------------------------|------|----------|
| 住民等の公共交通の利用者数<br>(圏域全体、人口一人あたり) |      |          |
| 公的資金が投入されている公共交通<br>の収支率        |      |          |
| (利用者一人当たり)公的資金投入額               |      |          |

計画作成の手引  
きに掲げられて  
いる標準指標。  
今後、調整会議  
で項目の追加等  
も含めて調整。

## 計画の実施及び進行管理の体制

本計画の推進及び進捗状況の管理は、京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会が行うこととする。PDCA サイクルに基づき、年度ごとに進捗状況を把握し、計画が適正に行われるように関係機関との調整を行う。



## 京都府北部5市2町の各種計画と公共交通との関連

| 自治体名                          | 各計画での公共交通の考え・位置づけ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福知山市                          | <p><u>未来創造 福知山 基本計画</u><br/>           利用しやすい鉄道機能の確保、利用しやすいバス交通の確保、公共交通ネットワークの充実</p> <p><u>福知山市地域公共交通網形成計画 目指すべき将来像</u><br/>           ①まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性の確保 ②地域全体を見渡した総合的な持続可能な公共交通網の形成 ③地域特性に応じた多様な交通サービスの組み合わせの導入 ④適正な財政支援による持続可能な公共交通手段の確保 ⑤市民、交通事業者及び行政など多様な関係者の連携と利用促進</p>                                                                                                                                                                                                             |
| 舞鶴市                           | <p><u>第7次舞鶴市総合計画前期実行計画</u><br/>           鉄道、バスへの運行支援、公共交通の利便性向上と交通アクセスの充実、市民、交通事業者及び行政の連携による公共交通の利用促進、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークのあり方の検討</p> <p><u>舞鶴市地域公共交通計画 基本理念</u><br/>           公共交通を将来にわたり維持し活用する</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 綾部市                           | <p><u>第6次綾部市総合計画</u><br/>           あやバスの安全で利便性の高い運行を推進、ラストワンマイルの移動手段の確保、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築を目指す</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 宮津市                           | <p><u>第7次宮津市総合計画</u><br/>           持続可能な公共交通を確立し、併せて、先端技術を活用したシームレスな(継ぎ目のない)移動しやすいまちを目指す</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 京丹後市                          | <p><u>第2次京丹後市総合計画</u><br/>           通院や通学、買い物などの日常生活や観光などの移動目的が達成できるよう、公共交通の充実を図る</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 伊根町                           | <p><u>第6次伊根町総合計画</u><br/>           公共交通は「乗って残そう公共交通」を合言葉に、路線バスの運行が維持されるようバスの利用促進を図る、町内の持続可能な公共交通の確保を目指す</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 与謝野町                          | <p><u>第2次与謝野町総合計画</u><br/>           このまちに暮らす誰もがまちへの愛着をもち、将来に渡って住み続けたいと思える生活環境を構築のため、利用しやすい公共交通を確保する</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 北近畿タンゴ鉄道<br>沿線地域公共交通<br>網形成計画 | <p><u>目指すべき将来像</u><br/>           ○目指すべき「沿線地域の姿」<br/>           ・自分たちのまちとして誇りが持て、住み続けたいと思う地域<br/>           ・自動車が利用できなくても、公共交通だけで暮らしていける地域<br/>           ・魅力的な観光圏として、国内外から多くの人が集まる地域<br/>           ・元気な産業・新たな雇用が生まれ、域外の人に移り住みたいと思う地域<br/>           ○目指すべき公共交通の姿<br/>           ・地域の人々や企業から信頼される、安心・安全な公共交通<br/>           ・便利で魅力的で、乗りたくなる、みんなに愛される公共交通<br/>           ・まちづくりの中核を担い、地域が支える公共交通<br/>           ・国内外からの来訪者に対応できる、世界に通用する水準の公共交通<br/>           ・交通モード相互の連携が図られ、だれもが使いやすい公共交通</p> |